



目次 Contents

第52回中春別農協通常総会	2~5
年金友の会	6
女性部活動報告	7
JA中春別乳牛共進会	8~9
生活クラブ援農体験	10
和牛研究会	11
酪農試公開デー	11
新規採用職員酪農実習	12~14
別海高校活動報告	15
酪農試験場通信	16

営農対策情報	17
販売通信	18
生乳課情報	19
新人紹介	20~21
牛魂祭	21
機構図	22
理事会の動き・乳質乳価	23
現地研修会チラシ	24~25
インフォメーション（電気切替・個人事業税）	26
占い・脳トレ	27
クロスワード	28



中春別農業協同組合

第52回

通常総会

第52回中春別農業協同組合通常総会が6月2日(火)、農業者団地センターで開催されました。

総会開会の前に、優良組合員表彰、乳質改善・良質乳生産組合員表彰、経営移譲感謝状授与、100年牧場表彰、永年勤続職員の表彰式が執り行われました。

開会にあたって西川組合長から挨拶(別記)、ご来賓からのご祝辞があり、議長には豊原地区の紫藤有策氏、中春別地区の中島哲郎氏が指名され正組合員数221人中、本人出席数56人、代理人出席3人、書面出席139人、計198人の出席のもと総会成立を確認し、議事に入りました。

議案第1号「令和7年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案及び注記表の承認について」大山専務より内容の説明があり、高橋代表監事より監査報告がありました。続いて議案第2号「令和8年度事業計画の設定について」、議案第3号「賦課金の賦課及び徴収方法について」、議案第4号「農地信託規程の一部変更について」、議案第5号「役員報酬の支給について」、議案第6号「役員報酬審議委員会委員の選任について」が上程され採決により可決決定され、全



議案原案通り満場一致で承認されました。

また、報告事項1「労働保険事務組合の令和7年度徴収・納付状況の報告について」大山専務より説明があり、報告事項2「JABバンク基本方針の変更について」真部常務より説明がされ議事を終えました。

閉会にあたり、伊藤副組合長より「機械や施設等の価格上昇が続く情勢の中、若い経営者や後継者新規就農を目指す方が将来を見据え希望を持って投資を行い規模拡大するという意欲が失われつつあると感じております。そのために機械の更新や施設の増改築、新築牛舎の建設等に対して支援が必要」と思っております。農協も支援に取り組みますが、国などにしっかりとした提言もしていかなければならないと思っております。また、ここ数年離農者が数多く、やむなくこの地を離れるというような状況も続いております。農協の役職員一同一丸となって、営農支援サポートに全力を注ぎ戸数維持に向けて、農協運営に取り組んでまいりたいと思います。」と述べられ閉会いたしました。

令和8年度表彰者

○優良組合員表彰者

金子琢哉（中春別地区）

○乳質改善・良質乳生産組合員表彰者

細川優作（豊原地区）

菅原美香（豊原地区）

橋本嘉篤（豊原地区）

畠山純一（美原地区）

小林亮平（中春別地区）

○経営移譲感謝状授与者

芳賀均（豊原地区）

田口英治（豊原地区）

畠山吉男（美原地区）

竹田潤（美原地区）

林博之（美原地区）

佐々木靖裕（中春別地区）

小原義男（中春別地区）

○100年牧場表彰者

高橋真悟（中春別地区）

相澤孝太（中春別地区）

○永年勤続職員表彰者

塩崎純也（勤続20年）



優良組合員表彰者 金子琢哉氏



乳質改善・良質乳生産組合員表彰者 畠山純一氏



100年牧場表彰者 高橋真悟氏



おはようございます。

本日ここに、第52回通常総会の開催にあたりまして、ご挨拶を申し上げます。

本日は、公私共にご多忙の中、ご臨席を賜りました行政、並びに系統連合会をはじめ、各関係機関と多数の組合員のご出席のもとに、本総会が開催できますこと、厚くお礼を申し上げます。

さて、国内外の情勢に目を向けますと、ロシアによるウクライナ侵攻は依然として解決の道筋は見えず、加えて、中東情勢の悪化はエネ

ルギー供給や海上物流不安定の要因となっております。こうした中、輸入原料価格の高止まりや円安の進行、国内の人件費・物流費の上昇が商品価格に転嫁されることにより、食品・生活物資などの値上がりが続ぎ、消費者の購買意欲の低下につながっております。

そのような中、酪農情勢においては、生産資材価格の高止まりが続ぎ、肥料・燃油をはじめとした営農資材の価格は依然として高い水準で推移しており、組合員の皆様の営農経営に大きな影響を及ぼしているところ です。

このような厳しい状況であるからこそ、JAといたしましては、系統の組織力を結集し、営農資材の安定確保に向けた取り組みを一層強化してまいります。早期予約の積み上げや計画的な発注・配送の徹底により、必要な資材が必要な時期に皆様のもとへ確実に届けられるよう、全力を尽くす所存であります。

また、建設資材や農作業機械については、ここ数年で約2倍の価格となっており、経営規模拡大の大きな障壁となっております。JAとして酪農対策協議会と連携を図り、金融面での対策などの必要性を国にしっかりと求めてまいります。

こうした中、令和7年度のJA事業におきましては、生乳出荷乳量は、11万8千2百トン、前年比98.8%の実績となり、搾乳戸数の減少が影響しましたが、個体販売価格が堅調で推移したことから、生乳・個体販売を合わせた総販売額は、187億82百万円と前年を上回り、過去最高を更新いたしました。

資材高騰をはじめとした厳しい情勢下ではありましたが、組合員の皆様をはじめ、ご家族はじめ従業員の皆様が一丸となって、良質乳生乳生産に取り組まれた日々のご努力に対し、心から敬意を表するとともに、感謝を申し上げる次第でございます。

また、子会社3社においては、ジェイエー・ワンプについては、計画通りの利益を確保できましたが、中春別マシンセンターは別途積立金の取り崩しにより、また、なかしゅんべ

つ未来牧場については、JAの支援策を講じ利益を確保いたしました。

各社の課題を整理し、経営の健全化に向けて取り進めてまいりますので、組合員皆様のご理解を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

あらためまして、子会社3社の組合員皆様の日頃の利用に深く感謝申し上げますとともに、今後とも組合員経営補完機能としての役割を果たすべく事業運営に努めてまいります。

このような成果のもと、JAの剰余金処分案につきましては、後ほど議案の中でご説明をいたしますが、当初計画以上の剰余金が確保されたことに加え、新事務所設計の基本プラン完成を控えていることから、事務所建設積立金への積立を計画的に進めてまいります。併せて、組合員皆様には、出資配当、事業分量配当合わせて4469万8千5百円の割り戻しをご提案いたします。厳しい酪農情勢の中、農協事業を利用いただきました結果に対するものです。これからも特段のご理解とご利用を賜りたくお願い申し上げます。ご

昨年の総会でご承認をいただきま

第52回 中春別農業協同組合通常総会



した、地域農業振興計画並びに第13次中期経営計画でございますが、「時代に即した活力あふれる地域づくり」をスローガンとして取組みを進めております。当地域においても組合員戸数が減少する中、持続可能な地域農業発展に向け、担い手確保並びに人材育成への取り組みや、外的要因の影響を最小限にするため、中春別地域の資源を生かし、当地域の特色である草地型酪農の充実に向けて、良質粗飼料生産支援の取り組みを推進してまいります。

また、職員の資質向上、事務の効率化を行い、健全なJA運営体制の構築並びに財務基盤の維持向上を図り、組合員の課題解決に向けて、役員一体となって、第13次中期経営計画を着実に実践してまいります。

併せて、生乳集荷業務効率化のため導入を進めてまいりましたミルクローリーにつきましては、別海町より取得額の2分の1の補助をいただき、運用を開始いたしました。この場をお借りしまして、町長をはじめ関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

昨年はJA合併50周年記念誌を発

行し、また、当地域においても入植100年を迎えた農場が誕生いたしました。幾世代にもわたり、たゆまぬご努力で経営を受け継ぎ、地域の酪農と暮らしを支え続けてこられたことにあらためて敬意を表します。将来にわたりこの地域が永続的に発展するために、今一度、協同組合の原点を組合員皆様と共有することが大事であると考えます。JAが組合員皆様の願いや不安の受け皿としての機能を発揮するため、組合員との対話を充実させ、組合員の意思を役員と共有し、対話の成果を、スピード感をもって、JA事業に反映させていくことが、組合員の経営基盤強化や所得向上、さらには、活力あふれる地域づくりの振興につながるものと信じております。

あらためまして、組合員皆様のJAへの結集とJA利用をお願い申し上げます。

結びになりますが、行政をはじめ、系統連合会、並びに各関係機関に對しまして、今後とも、より一層のご指導とご支援を、心からお願いを申し上げます。本総会開会にあたっての挨拶とさせていただきます。

第42回 通常総会を開催

中春別農協年金友の会（紫藤正幸会長）は、6月5日（金）に中春別ふれあいセンターにて第42回通常総会を開催しました。

始めに紫藤正幸会長より開会挨拶、来賓の中春別農業協同組合 真部朝志常務理事より祝辞をいただき議事へと移りました。総会進行にあたり、議長には中春別地区の高橋徳正さんが選出され、議事が進められました。議案第1号「令和7年度事業報告及び収支決算書の承認について」、議案第2号「令和8年度事業計画（案）及び収支予算（案）の設定について」以上全議案可決承認されました。

総会終了後は春季スポーツ交流会としてパークゴルフとボッチャを行いました。昼食後、中春別ヘルスパークにてパークゴルフを12名の参加者のもとに行いました。小雨が降り寒い天候でしたが終始楽しく、競技を終えることができました。



また、ふれあいセンターではボッチャを17名の参加者のもとに行いました。会員の皆様にご協力をいただきながら、和やかな雰囲気の中で競技が行われました。順位決定では同点のチームもあり、最後はくじ引きで順位を決定するなど大変盛り上がりしました。

今後も様々な行事を予定しておりますので、多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。また、新規加入者には心ばかりの粗品のご用意もありますので、ご希望の方はぜひ事務局までご連絡ください。

事務局 金融共済課 貯金係／電話 0153-76-2314

今年も素敵な鉢が完成しました

寄せ植え講習会

6月10日(水)寄せ植え講習会を農協スタンド横ガレージ内で開催しました。

講師にハートフラワーチャリーの篠田夫妻を招き、花の特徴や植え方を教わりながら講習を行いました。

カラフルな色のかわいらしい花が多く、部員はそれぞれ自分の好きな花を組み合わせ、篠田さんにアドバイスをいただきながら配置などを試行錯誤し、素敵な鉢を完成させることが出来ました。また、農協前の花壇に飾る大きな鉢も2つ作り完成しましたので、農協に立ち寄る際にはぜひ、お楽しみください。



令和8年度 JA中春別乳牛共進会



6月6日(土)に、令和8年度JA中春別乳牛共進会が(株)なかしゅんべつ未来牧場 共和育成センター共進会場において開催されました。

開催に先立ち牛魂祭及び農作業安全祈願祭が執り行われ、早朝は雨がちらつき不安な天候ではありましたが、開会式までには小雨も止み無事に屋外でショウが行われることとなり、出品者の皆様が日頃より手塩にかけられた38頭の愛牛達が一堂に会しその資質を競い合いました。

審査員は、北海道ホルスタイン農業協同組合 審査部審査課係長の今野 真大さんが務められ迅速且つ丁寧な審査をしていただいた結果、シニアチャンピオンに寺澤 佳吾さん出品の「プロミネンス ユキナシ アイキヤンデー」が輝き、ジュニアチャンピオンには小湊 均さん出品の「シユプレマシー ロイヤル バツファイ」が輝きました。審査講評中には観客や出品者も真剣に聞き入っており、予想投票には多くの参加をいただき大いに盛り上がりしました。

また、ジュニアリードマンショウでは6名の参加を頂き、小さな子供達が一生懸命に牛をリードし、また、女性リードマンショウでは13名の参加を頂き、堂々とリードする姿に会場も盛り上がりしました。

今年もお昼には恒例の、青年部による牛ロースカットステーキや女性部によるミルク豚汁の無料提供にも協力いただき非常に好評でした。

酪農家にとって1年間で最も忙しい収穫期を迎えていますが、農作業事故や体調に十分にご留意いただき、これから始まる共進会にも一層白熱した戦いが見られるよう楽しみにしたいと思います。



令和8年度 JA中春別乳牛共進会成績表

最多出品者：小湊 均 牧場（8頭出品）

新 人 賞：該当者なし

最優秀ジュニアリードマン：井上 陽太 さん

（保護者：井上 拓也さん）

参加者6名

最優秀女性リードマン：1位 竹田 律子さん

2位 尾上 結さん

3位 木原 あいさん

参加者13名



左：伊藤 雛希さん 右：千葉 彩生さん

シニア チャンピオン

出品番号	名 号	生年月日	父 牛 ・ 母 牛	出品者
804	プロミネンス ユキナシ アイキャンディー	R6.2.26	父牛：MBラツキーレディー アイ キャンディー ET 母牛：プロミネンス ユキナシ サイドキック	寺澤 佳吾

リザーブ シニア チャンピオン

出品番号	名 号	生年月日	父 牛 ・ 母 牛	出品者
902	プロミネンス エル アポロ サイド ラムダ	R5.3.25	父牛：フアーニア デルタラムダ ET 母牛：プロミネンス エル サイド アポロ	寺澤 佳吾

ジュニア チャンピオン

出品番号	名 号	生年月日	父 牛 ・ 母 牛	出品者
601	シュプレマシー ロイヤル パツフィー	R7.1.3	父牛：コムスター ロイヤル 母牛：シュプレマシー ヒンペル プレシアス パツフィー	小湊 均

リザーブ ジュニア チャンピオン

出品番号	名 号	生年月日	父 牛 ・ 母 牛	出品者
603	YMD Bローズ CIF ドック ジン	R6.12.3	父牛：ウツド クレスト キング ドック 母牛：YMD ブラックローズ GCチーフ ジンライム	小湊 均

入賞牛（1等1席）

部	出品番号	名 号	生年月日	父 牛 ・ 母 牛	出品者
1	102	プロミネンス プレリユード アベンジャヤー	R7.12.22	父牛：ミステイク アベンジャヤー ET 母牛：プロミネンス プレリユード ドリーミス	寺澤 佳吾
2	204	YMD ロクセット SDKKドロボ キルル	R7.10.4	父牛：キング スランソム ドロップ ボックス ET 母牛：YMD ロクセット DM サイドキック キリーラ	山田 侑甫
3	304	YMD モント CIFサンダー スカルビー	R7.8.17	父牛：ブロンデイン サンダー ストーム ET 母牛：YMD モント TATチーフ ヒーリン	山田 侑甫
4	403	YMD ロクセット LAMデンバー キーコ	R7.6.12	父牛：ブレンランド デンバー 母牛：YMD ロクセット SOLOラムダ キース	山田 侑甫
5	502	ビーチファーム ダリル サイドキック フールー	R7.4.24	父牛：シーマーズ ウルフ フールー 37006 ET 母牛：ビーチファーム ダリル サイドキック セブン	小湊 均
6	601	シュプレマシー ロイヤル パツフィー	R7.1.3	父牛：コムスター ロイヤル 母牛：シュプレマシー ヒンペル プレシアス パツフィー	小湊 均
7	702	ランフォーラクト アクションマン ママ	R6.9.29	父牛：チエリーヒル アクションマン 母牛：ランフォーラクト KHI ドック H ママ ET	小湊 均
8	804	プロミネンス ユキナシ アイキャンディー	R6.2.26	父牛：MBラツキーレディー アイ キャンディー ET 母牛：プロミネンス ユキナシ サイドキック	寺澤 佳吾
9	902	プロミネンス エル アポロ サイド ラムダ	R5.3.25	父牛：フアーニア デルタラムダ ET 母牛：プロミネンス エル サイド アポロ	寺澤 佳吾
10	1002	プレステージ ラスト マドンナ	R4.1.25	父牛：フアーニア デルタラムダ ET 母牛：プレステージ ラスト トロワ	久保 光大
11	1103	ライブリー K ユニクス ルシнда	R2.5.21	父牛：クロトー レスペロン ユニクス ET 母牛：ライブリー K ソロモンシル	山田 光男

生活クラブ生協組合員及び組合員家族を招いた夢都里路くらぶ援農体験が開催され、3名の参加のもと、(株)なかしゅんべつ未来牧場にて6月10日(水)～12日(金)の日程で実施しました。

農協に到着し、参加者同士の自己紹介と3日間の行程についてのオリエンテーションを行ってから(株)なかしゅんべつ未来牧場へと向かい、夕方より始まる酪農作業に向けて場内視察を行いました。参加者3名のうち2名が酪農初体験であるため、牛の大きさや充実した設備に驚いている様子でした。また仔牛を可愛がる場面も見られました。2日目の昼に懇談会を行い、中春別農協女性部より齋藤部長、原内副部長、農協より西川組合長、山崎理事、上田理事、未来牧場より研修生と職員が参加し、生産者と消費者との貴重な交流の場となりました。



2日目は朝5時から牛舎作業を開始し、哺育作業、除糞・餌寄せ、搾乳作業等一連の作業を行っていただきました。参加者からは「実際に作業を行ってみて、たくさんさんの愛情を込めて育てられているのだなと感じました。もっと酪農に興味を持つことができました。」と、実際に作業したからこそ、感じ取れたものがあつたようでした。

体験・交流を通じて、
「安心・安全」な食の理解を深める

3日目は早朝の作業を終え、援農体験が終了しました。

また、参加された方については、援農体験を通じて生産者との交流を図ったことにより、生産者が「安心・安全」な食を届けるために日々奮闘していることや現在の酪農をとりまく厳しい現実を十分に理解していただけたことと思います。



地区外視察

中春別和牛研究会では、去る5月25日(月)に地区外視察研修を行いました。

今年は、道東あさひ上春別支所の(株)井出牧場(代表取締役 井出克昭氏)を視察いたしました。

井出牧場は、平成18年に搾乳を中止し、和牛農家へ転身しています。令和2年に繁殖牛舎を新築し、現在の飼養頭数は繁殖牛190頭、初生から素牛まで200頭と合わせて390頭を4棟の牛舎で飼養しています。年間の素牛販売頭数は150頭程で月に10頭強販売しています。十勝肉牛市場では素牛価格も高く、毎年根室管内和牛協議会の総会において表彰をされています。初生においては、40日までミルクを哺乳瓶で給与していますが、40日以降から120日くらいまでは哺乳ロボットで給与しています。

また、昨年度の第4回根室管内和牛共進会では、1部に出品の『あさの2号(父・博紅葉)』が末経産の部で最高位賞を獲得いたしました。子牛の疾病から種雄牛選定、授精状況や繁殖雌牛の飼養管理など多岐にわたり、様々な意見や疑問点などの話が出ている場面も多くみられ、会員各々が実りある視察研修であったと思われます。



第18回 酪農試験場公開デー

とき／8月5日(水) 9時00分～12時30分
ところ／酪農試験場(中標津町旭ヶ丘7番地)

地域に開かれた試験場として、管内農業関係者や地域住民に対して「道総研」に関する研究業務および牛乳・乳製品に対する理解を深めていただくために「酪農試験場公開デー」を開催します。

- ・場内施設や搾乳の見学、子牛とのふれあいコーナー、科学実験コーナー
- ・搾乳体験、子牛への哺乳体験、カッテージチーズづくり、バターづくり
- ・管内農家等製造乳製品(チーズほか)、障がい者福祉施設製品等の展示即売会
- ・サケ・マス類、町内河川の魚類展示(共催：さけます・内水面水産試験場道東センター)

※各種体験コーナー、見学ツアー(バス)の整理券を9:00から配布します。

※スリッパの不足が予想されます。なるべく上履きをご持参ください。子供用スリッパはございません。



道総研

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構
農業研究本部 酪農試験場 総務課
TEL 0153-72-2004

新規採用職員酪農実習

新規採用職員の酪農実習が5月下旬から1泊2日の日程で実施されました。酪農実習においては毎年当JAに新規採用された職員がこれから営農と生活をサポートしていく組合員の皆様が生業とする酪農業について毎日どのような作業を行い、生乳を生産し消費者の食卓へ届けているのか自らが体験し酪農の大変さや楽しさを感じてもらうために実施をしております。今回5名の職員（竹内乙佑職員、篠原有来職員、笹岡夢職員、井上綾菜職員、伊藤雛希職員）が未来牧場にて実習を行いました。短い時間ではありましたが、酪農実習を体験した職員にとっては貴重な経験になったことと思います。

実習レポートについて以下の通り掲載いたします。

竹内 乙佑



私はこのたび、未来牧場において酪農実習を実施いたしました。本実習は、酪農経営の実態および乳牛の飼養管理に関する知識を習得し、生産現場への理解を深めることを目的として行われました。実習期間中は給餌、除糞、搾乳ならびに哺育舎における管理作業を中心に従事し、酪農業を支える日常業務について実践的に学ぶ機会を得ることができました。

実習では主に給餌、除糞、搾乳、哺育舎での作業を教えてくださいましたが、特に給餌作業においては、乳牛の健康維持および生乳生産における飼料管理の重要性について理解を深めることができました。実際に給餌作業を行う中で、乳牛の採食状況を観察しながら管理を行うことの重要性を学びました。採食量や採食行動は健康状態を把握するための重要な指標であり、日常的な観察が疾病の早期発見や生産性の維持につながることを認識しました。また、乳牛の成長段階や泌乳状況に応じて給与する飼料の種類や配合が調整されていることから、適切な飼料設計には専門的知識と経験が必要であることを理解しました。

私は本年4月に農業協同組合へ入組し、現在業務に従事しております。本実習を通じて、生産現

場における実際の作業内容や生産者の方々の時間管理、そして安全で高品質な生乳を生産するための努力について理解を深めることができました。生産現場を直接経験したことは、今後組合員の方々と接するうえで実務的に活用できる経験となりました。

今後は、本実習で得た知識および経験を業務に生かし、生産者の方々の立場や現場の状況を十分に理解したうえで対応できる職員を目指してまいります。また、農業協同組合職員として自己研鑽に努め、組合員の皆様に対してより適切な支援とサービスを提供できるよう知識および技術の向上に取り組んでいきたいと考えております。



篠原 有来

5月21日から22日の2日間にわたり、なかしゅんべつ未来牧場研修センターにて酪農実習を行いました。初日は本牛舎にて給餌作業、除糞作業、通路の清掃作業を午前と午後2回ずつ行い、夕方からは実際に搾乳作業を行いました。搾乳作業に入る前に牛にキックノンを装着しますが外れてしまわないようキックノンのサイズを変え牛ごとに変更して装着し、プレディッピングを行った後前搾りで異常が無ければ牛乳に汚れが混ざらないように乳頭をタオルでしっかり拭きます。その後ミルカーを装着するのですが中々コツを掴めず時間がかかってしまい苦戦することがありました。2日目は朝の搾乳作業後、哺育舎の古い敷料を新



しい敷料に交換する作業を行い、その後残っている飼料を記録しウォーターカップを洗浄をしてから飼料の給餌を行うのですが一頭一頭の量を確認しながら給餌していき水、飼料の交換作業を終えました。その後午前で必要な数のミルクを温度管理に気を付けながら作りました。この他にも子牛の除角作業にも立ち会うことができ、牛を守るためにも大事な作業だと実感しました。午後からは哺育舎で午前と同じ作業を行った後夕方の搾乳作業を終え実習は終了となりました。

今回の実習で牧場では牛の管理の仕方や牛舎を清潔に保つために徹底している事などを学ぶことができました。今回学んだことを今後の仕事に活かしていきたいです。

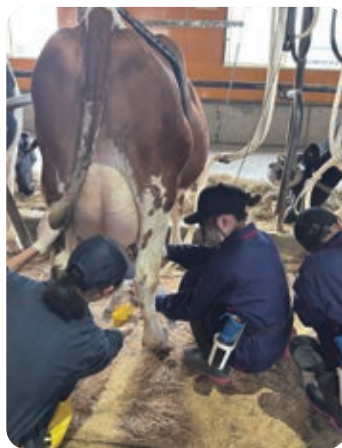


笹岡 夢

5月26日から27日の日程で未来牧場にて酪農実習を行いました。実習内容は牛の寝床と通路の除糞、餌寄せ、哺育作業、搾乳等を行いました。哺育作業では敷料の入れ替えやミルクの準備をしたのですが、その際に温度調整をしたり、生菌剤を混ぜるなど子牛が飲みやすいよう色々な工夫をされていることを知りました。そして未来牧場では除糞や寝床・通路の掃除、餌寄せなどをこまめに行うことで牛がきれいな環境で健康に過ごすことができていることが分かりました。搾乳ではミルカーの装着に苦戦しましたが、従業員の方に手伝っていただき徐々にコツを掴むことができました。今回の牧場研修に参加し、決まった時間に作業をするものの重要性や、朝晩二回の搾乳作業は体力やスピードも大切になってくるので特に大変だと感じ、ごく一部ではありますが組合員さんが

普段どのような作業を行っているのかを知るとても貴重な経験となりました。

最後に、未来牧場の職員の皆様お忙しい中準備やご指導をしていただきありがとうございました。今回の実習を糧により一層業務に励みたいと思います。





5月26日から5月27日の2日間にわたり未来牧場にて酪農実習を行わせていただきました。この2日間では清掃、給餌作業、哺育作業、搾乳をやらせていただきました。

最初は恐怖心があり牛に近づくことに不安もありましたが従業員の方々のサポートもあり落ち着いて作業を行うことができました。

その中でも搾乳の作業が大変でした。前搾りでは乳の出やすい牛や出にくい牛もいたので難しかったです。特にミルカーを上手く装着させることができず外れてしまい、慣れない作業に苦勞しました。2日目では従業員のサポートがなくても装着ができるようになりました。

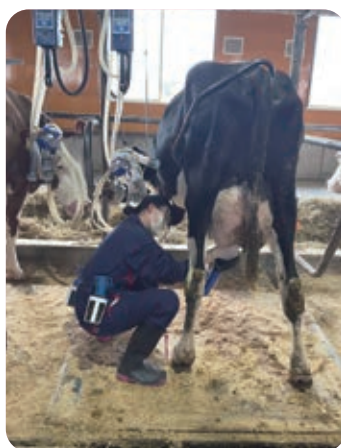
今回酪農という仕事を始めて経験しましたが、普段とは異なる時間帯での作業や体力を要する業務内容に大変さを感じました。今回行った作業を通して、牛を第一に考え一頭一頭の健康状態に気を配りながら作業していることがわかりました。さらに普段経験することのない作業を行い、酪農への理解をより深

めることができました。

現在は融資の業務に携わっていますが、牛舎の設備や機械、飼料など多くの費用がかかっていることを実感しました。職員として組合員の皆様の経営や生活をサポートしていきたいです。

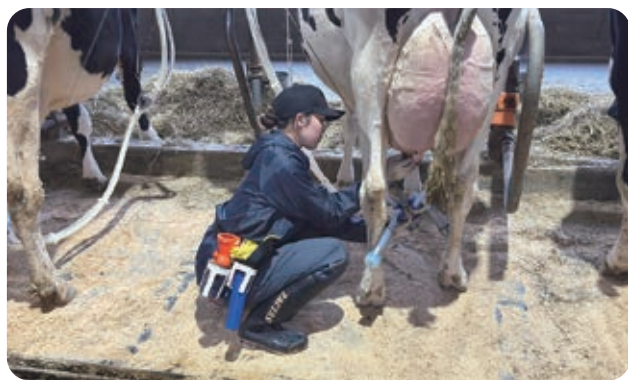
今回の実習で得た知識や経験を今後の業務に活かしていきたいと考えています。

最後になりますがお忙しい中ご指導いただいた従業員の皆様、ありがとうございました。



6月3日から6月4日の2日間にわたり未来牧場にて酪農実習を行いました。実習では、まず哺育舎のハッチの掃除や、水の交換を行い、子牛が出てこないように気を付けながら掃除をするのがとても大変でした。また未来牧場では、水や飼料の入ったバケツは毎日洗って清潔にされていました。給餌作業では、一頭ずつ配合飼料を与え、牧草については、スコップでエサ寄せをしました。ちゃんと食べているかを観察し、牛の健康管理を行うことも大切だということを学びました。体調不良の子牛がいたため、獣医の方に来てもらい検診の見学をさせていただき、点滴を打ってもらい、次の日には少し元気になっていました。搾乳作業では、牛との距離が近く、しゃがみながらミルカーを装着するのが大変で苦勞しました。搾乳後は、ディッピングやタオルを洗い、ミルカーの消毒をして菌の入らないよう常に清潔な状態を保っていました。

今回の実習では、未来牧場の職員の皆様に親切に指導していただき、農家さんがどのような作業や生活をしているのか、理解を深めることができ、とてもいい経験となりました。この経験を、今後の仕事に活かしていきたいと思います。





北海道別海高等学校 酪農経営科・専攻科だより

7月号

●【酪農経営科】くるみ保育園との連携事業

5月13日(水)本校農場にて、くるみ保育園の園児と酪農経営科1～3年生による農業体験連携事業が行われました。この取り組みは、ふれあいを通じて園児に農業へ親しんでもらうとともに、高校生の伝える力を養うことを目的としています。

はじめは緊張も見られましたが、自己紹介を経て、和やかに交流がスタートしました。最初にジャガイモの特徴や植え付けのコツを説明し、その後は畑で実際に作業を行いました。高校生が目線を合わせて優しくサポートしたことで、園児たちも最後まで楽しく種芋を植え付けることができました。

3年生の松浦爽一郎さん(根室柏陵中出身)は、「どうすれば楽しさを分かりやすく伝えられるかを考え、難しい言葉を使わないよう工夫しました。園児たちも私たちも、一緒になって楽しむことができたと思います」と笑顔で話してくれました。



ジャガイモの植え付けの様子

●【酪農経営科】JAふれあいまつり

5月30日(土)、別海町農村広場にて開催された「2026JAふれあいまつり」に参加しました。当日は、授業で栽培した花や野菜苗をはじめ、加工実習で製造したSTRINGチーズやヨーグルトの販売を行いました。

また、同会場で行われた共進会では、地元の酪農家から牛をお借りしてリードマンコンテストにも出場しました。



販売会の様子

販売を担当した3年生の石橋大夢さん(別海中央中出身)は、「準備から片付け、販売作業までどれも大変でしたが、商品は完売し、みんなと協力できたので良かったです」と、当日の活動を振り返ってくれました。



リードマンコンテストの様子

●【専攻科】第2回酪農技術現地研修会

5月21日(木)、「第2回酪農技術現地研修会」として標津町の大西牧場を視察しました。同牧場では、経産牛117頭をフリーストール牛舎で、育成牛106頭をつなぎ牛舎で飼育していました。

経営者の大西亮祐氏は、「酪農経営において収益性は重要であり、飼育方法に正解はないが、当牧場では牛を健康的に飼うことを最優先している」と話していました。

同牧場では牛の健康を支えるため「病気の出ない餌作り」を重視していました。牛に悪影響を及ぼす成分が残らないよう、肥料やスラリーは秋を中心に散布するほか、ホタテの貝殻を活用した土壌へのカルシウム補給など、牧草の品質向上に向けた細やかな工夫が行われていました。さらに、近隣農家6戸でTMRセンターを設立・運営し、作業を分担することで効率的かつ高品質な粗飼料生産を実現しています。



牧場視察の様子

今回の視察を通じ、牛の健康と経営の安定を両立させるための、土づくりから始まる実践的な管理手法や経営哲学を学ぶ貴重な機会となりました。

●【専攻科】酪農試験場「土壌草地学」実験

5月26日(火)、酪農試験場にて1年目学生が「土壌草地学実験」を行いました。

実験では、学生がそれぞれ自家の草地3区画から採取した土壌をサンプルとして持ち込み、pHやEC(電気伝導度)、有効態リン酸、交換性塩基(K、Mg、Ca)の土壌分析を実施しました。学生たちは、器具の操作方法だけでなく分析値の科学的原理についても習得しました。さらに、土壌の生成過程から作物の必要養分量、土壌診断のデータに基づいた適切な施肥対応までの一連の理論を体系的に学びました。

分析の結果、それぞれの草地が持つ土壌成分には明確な違いがあることが判明しました。学生たちは数値の背景にある個々の課題を読み解き、今後の草地の維持管理や効率的な更新計画へ実践的に役立てるための知見を深めていました。



土壌草地学実験の様子



農業技術支援会議（以下、支援会議）は、高度化・多様化する地域の農業課題に迅速かつ的確に対応するため、平成18年度から全道的に活動している推進体制です。根釧管内では、根室地域農業技術支援会議と釧路地域農業技術支援会議として、それぞれの振興局、酪農試験場、技術普及室（技術普及課酪農試験場在）、農業改良普及センター、家畜保健衛生所から構成され、行政、研究、普及が一体となって地域課題の支援を行うことを目的に活動を行っています。

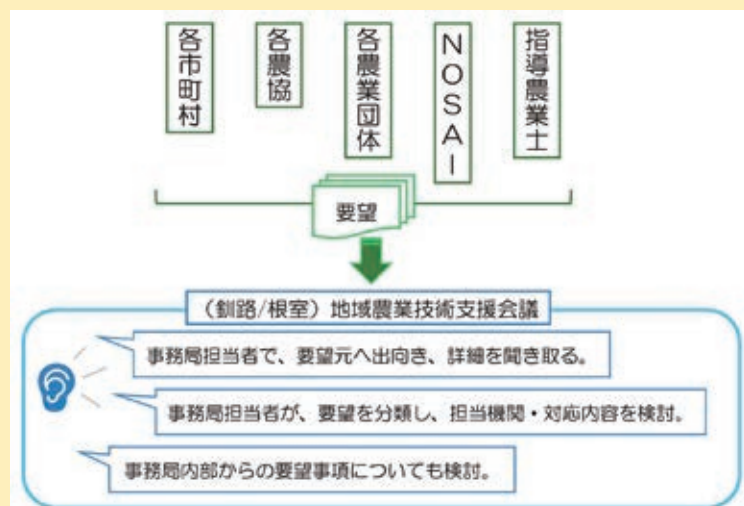


図 根釧管内における農業技術支援会議の運営イメージ

支援会議の運営は、年間を通じた計画的なプロセスに基づいており、その中核をなすのが「地域課題要望調査」です（図）。この調査を通じて市町村や農業協同組合などの地域関係機関から課題や要望を収集し、事務局によるヒアリングを経て、課題を「プロジェクト課題」、「行政課題」、「研究課題」、「普及課題」、「地域対応課題」の5つに分類して、それぞれ支援会議全体、試験場、普及センター、行政など、最も適切な機関が対応する体制がとられています（表）。

表 聞き取りした要望の分類と対応

課題の分類	担当機関	課題の特徴
プロジェクト課題	支援会議	緊急・地域特有・行政・普及・研究が協働連携して取り組む必要がある課題
行政課題	(釧路総合／根室) 振興局	行政に関係する要望
研究課題	酪農試	過去の成果だけでは解決できない課題
普及課題	普及センター	普及に関係する要望
地域対応課題	支援会議	地域性のある要望（地域対応課題）

プロジェクト課題としてはこれまで、根室地域では、令和6年度まで「麦類同伴栽培」を実施しており、釧路地域では、令和7～8年まで「飼料用とうもろこしの難防除雑草（ガガイモ）対策」を実施しています。研究課題としては、令和8年から革新的技術導入による地域支援として「近年の根釧地域の気象条件におけるマメ科混播草地の播種晩限の現地実証」に取り組んでいます。その他にも、行政課題・研究課題・普及課題などにも多数取り組んで来ました。

例年ですと、5月中旬に要望調査の依頼を開始し、6月下旬から7月上旬頃を報告期限としています。その後、要望いただいた機関に対して個別のヒアリングを実施しています。今後、事務局会議や全体調整会議、地域関係者会議といった一連の会議を通じて、活動計画の策定、進捗状況の報告、関係者との合意形成が図られます。この体系的なアプローチにより、地域の農業が直面する課題解決に向けた、組織的かつ効果的な技術支援の実現を目指しています。



ミルカーシステムの異常は、乳房炎発症リスク

ミルカーは、搾乳するために毎日使う機械です。そして、搾乳で得られた生乳は酪農家の収入です。ミルカーの機能が低下すると、乳房炎や乳質低下のリスクが高まります。ミルカーの性能を維持するために、日々のメンテナンスと年一回の点検を受けましょう。

■ ミルカーシステムの機能

- ミルカーシステムは、乳頭からミルククローに真空で生乳を吸引(搾乳)して、バルククーラーに送ります。
- パルセーターにより、ティートカップ内部の真空と大気を定期的に切り換えることで、断続的な搾乳がおこなわれます。

■ メンテナンスのポイント

① ライナーの定期交換

- ライナーは、乳頭に直接触れるため、メーカー推奨期間内に定期交換する。劣化すると、マッサージ機能の低下や拍動比のバラツキにより、乳房炎や乳質低下リスクが高まります。

② パルセーターの作動確認

- 拍動比が、メーカー仕様の範囲内(53~65回/分)か確認する。異常があれば、専門家に点検調整を依頼する。

③ チューブ類の洗浄・点検

- 各チューブは、メーカー推奨期間内に定期交換する。
- チューブ内部の洗浄に加え、亀裂や劣化がないか目視で確認する。

④ 真空度・エア漏れの確認

- 真空度の確認は、陰圧が安定した時点の真空度と設定真空度が同値か確認する。
- エア漏れの確認は、エアを入れずに真空ポンプを停止した後、真空度が下がっていく速度がゆっくりなら、エア漏れが少ない(問題無し)。速度が、速い・不均一な場合は、専門家に点検・調整を依頼する。

⑤ 調圧器の点検(目視による汚れの確認)

- 安定した真空度を保つため、定期的な掃除と部品の交換をする。

■ メンテナンスのサイン

「いつもと違う」変化はありませんか？

機器の数値：真空圧が高い・低い、拍動比が高い・低い

搾乳牛の様子：バタバタする、足を上げる、搾乳時間が長い(渋い)、乳房炎が増えたなど…。

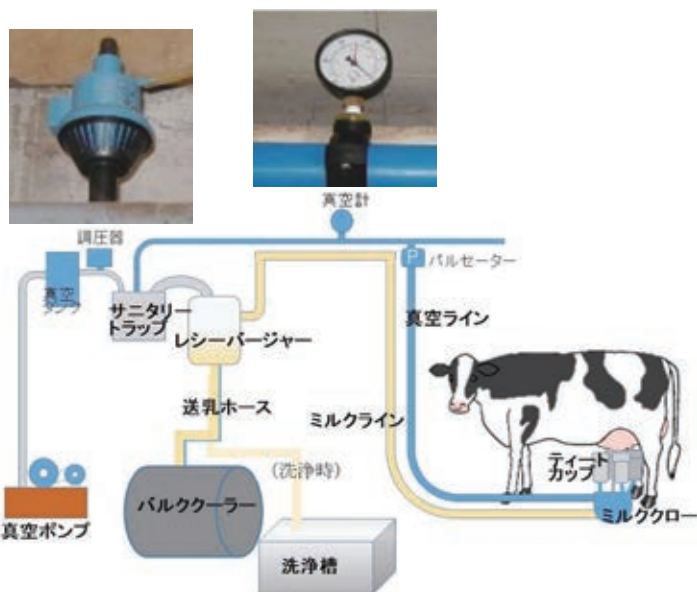
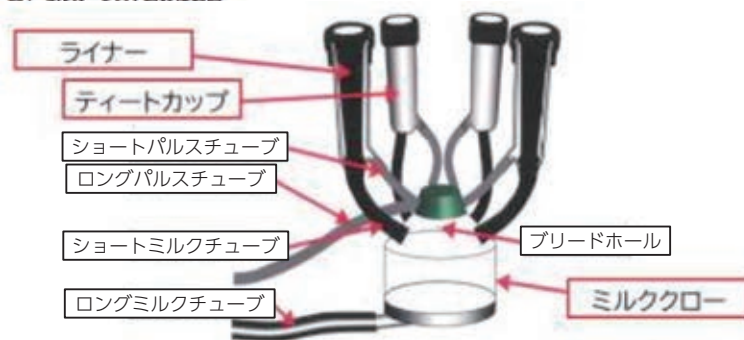


図1 ミルカーシステムの模式図



引用：新人酪農ヘルパー入門書(宗谷農業改良普及センター)



令和8年6月(雄) (上場頭数6頭以上、税抜価格)

	種 雄 牛	合計頭数	平均体重	平均日令	平均価格	DG	日齢単価
1	福勝鶴	6	61	13	332,000	4.61	25,215
2	優鶴福	8	55	13	314,875	4.40	25,190
3	隆之姫	7	43	9	296,857	4.59	31,485
4	福之姫	7	55	14	288,000	3.88	20,364
5	花之福	11	50	13	284,091	3.82	21,701
6	花福姫	13	52	12	273,308	4.22	22,206
7	千寿剣	25	51	13	271,760	3.82	20,464
8	鶴姫重	9	48	10	267,556	4.67	25,892
9	峰勝姫	61	51	18	265,328	2.78	14,555
10	勝美早	20	54	14	264,050	3.97	19,559
11	北美津久	27	53	14	262,741	3.79	18,767
12	伊勢之鶴	10	48	14	262,200	3.50	19,000
13	咲早桜5	13	50	11	257,923	4.68	23,950
14	銀忍	32	52	12	255,906	4.48	22,013
15	喜亀平	22	47	12	254,955	3.79	20,546
16	北美津豊	18	53	14	252,667	3.89	18,413
	総計	616	50	13	251,354	3.76	18,793
17	博紅葉	25	46	10	249,240	4.53	24,531
18	姉久姫	35	50	17	248,171	2.98	14,848
19	秋忠平	6	60	14	247,833	4.34	17,916
20	勝金幸	67	51	13	243,418	3.92	18,703
21	飛鳥姫	9	58	14	237,444	4.24	17,374
22	鉄晴幸	75	49	13	235,013	3.79	18,209
23	隆知恵	8	43	13	234,875	3.27	17,895
24	奥晴花	18	48	12	233,111	3.90	18,986
25	満天太郎	13	52	15	232,231	3.48	15,482
26	勝久桜	15	53	10	224,933	5.06	21,490
27	勝俊桜	8	48	12	201,000	3.89	16,408
28	北小糸	8	43	10	193,625	4.44	19,859

* 総計には除外した頭数も含む

令和8年6月(雌) (上場頭数5頭以上、税抜価格)

	種 雄 牛	合計頭数	平均体重	平均日令	平均価格	DG	日齢単価
1	鶴姫重	11	49	15	283,545	3.26	18,903
2	福之姫	6	70	35	276,667	2.00	7,905
3	北美津久	38	52	17	265,184	2.96	15,245
4	姫百合	5	53	11	264,800	4.87	24,519
5	優鶴福	5	49	15	256,400	3.34	17,324
6	勝久桜	8	50	10	243,125	5.03	24,620
7	伊勢之鶴	11	48	16	239,091	3.08	15,202
8	千寿剣	24	50	12	238,583	4.20	19,951
9	峰勝姫	45	48	20	229,933	2.39	11,345
10	秋忠平	8	61	24	228,375	2.58	9,667
11	勝美早	13	48	14	227,846	3.37	15,925
12	博紅葉	13	48	15	226,077	3.17	14,995
13	銀忍	29	49	10	223,897	4.77	21,936
14	鉄晴幸	93	48	13	219,409	3.54	16,337
15	北美津豊	14	51	16	218,571	3.17	13,661
	総計	558	48	15	215,742	3.27	14,651
16	隆之姫	8	42	10	215,250	4.35	22,077
17	飛鳥姫	12	51	16	211,333	3.19	13,208
18	姉久姫	22	46	18	209,727	2.56	11,564
19	満天太郎	11	52	12	206,727	4.48	17,906
20	花之福	10	46	12	206,200	3.85	17,183
21	隆知恵	10	44	15	204,900	2.91	13,660
22	勝俊桜	6	41	10	204,333	4.22	21,138
23	花福姫	6	49	13	199,500	3.86	15,750
24	勝金幸	59	46	13	189,424	3.54	14,514
25	奥晴花	13	45	14	167,846	3.20	12,055
26	拓忠平	5	40	15	162,200	2.75	11,110
27	北小糸	14	43	11	161,643	3.82	14,233
28	喜亀平	19	43	16	137,632	2.64	8,463

* 参考 *

暁之藤	3	52	12	322,667	4.49	27,657
秋光花	3	51	10	284,333	5.10	28,433
姫百合	2	62	9	277,000	6.83	30,778
茂勝平1	1	49	26	276,000	1.88	10,615
幸松梨	2	54	17	270,500	3.18	15,912

* 参考 *

暁之藤	1	69	24	308,000	2.88	12,833
福之鶴	1	50	12	268,000	4.17	22,333
福勝鶴	4	64	29	263,000	2.21	9,148
秋光花	4	54	12	257,500	4.60	21,915
咲早桜5	3	49	10	248,667	5.10	25,724

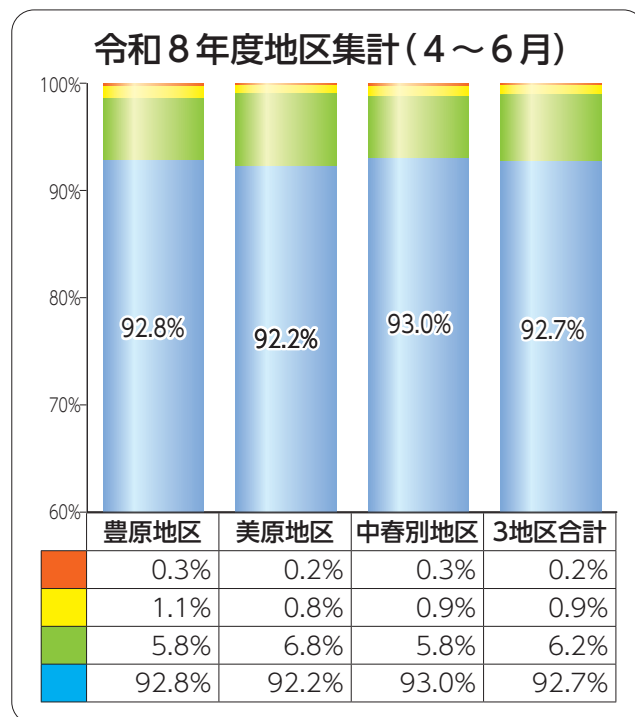
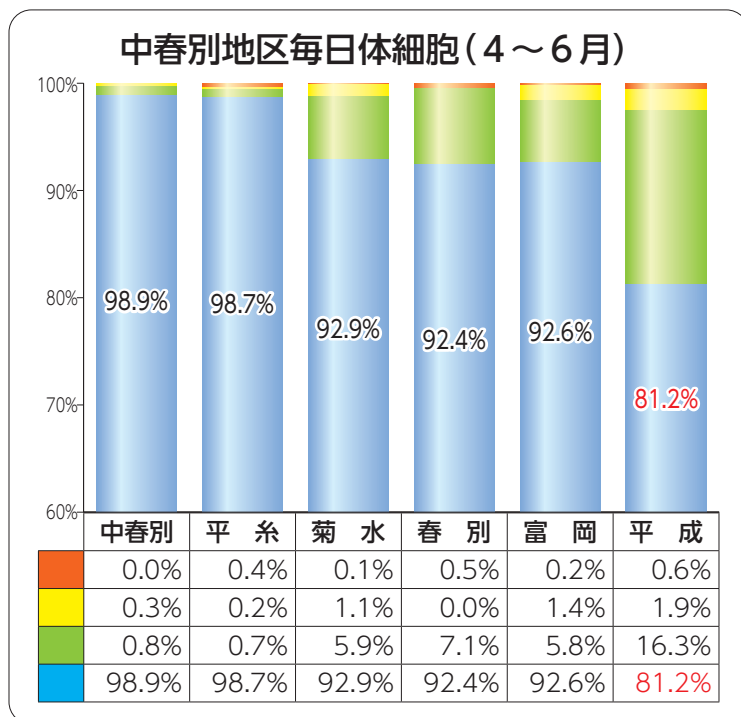
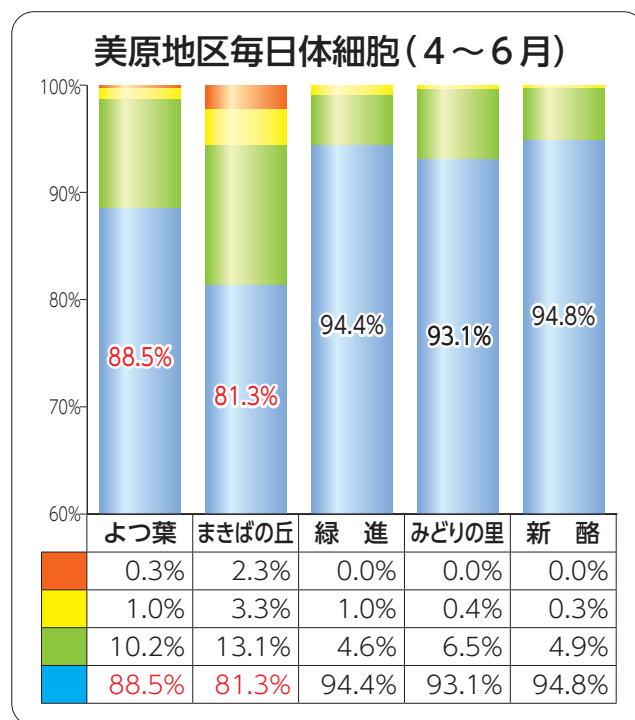
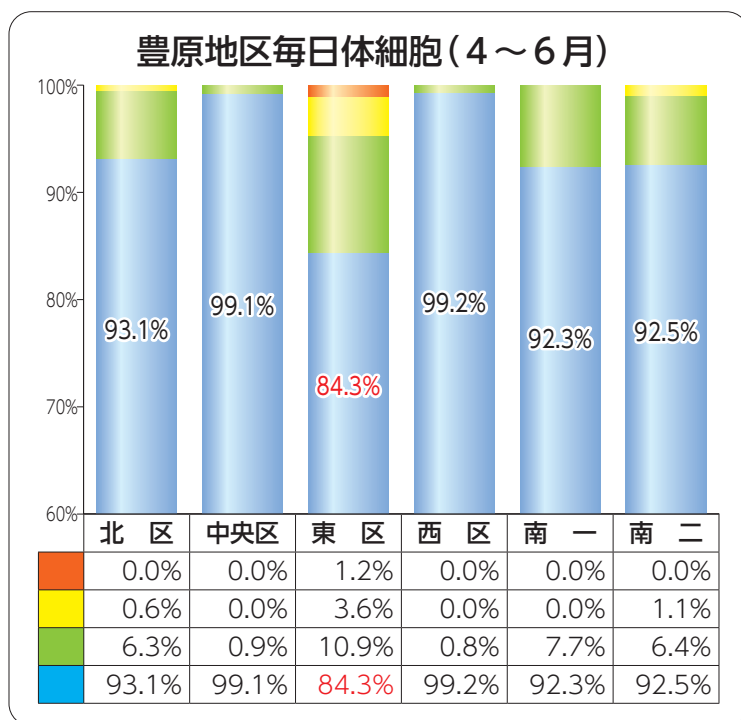
* 市場上場牛の治療歴、身体的な瑕疵等お気づきな点がありましたら申込時に申告を、廃用・初妊牛等の出場牛には新しいモクシの装着をよろしくお願いいたします。

豊原	美原	中春別	全体計
87.5%	87.8%	78.3%	84%

令和8年6月30日現在	JA中春別発生	管内合計件数
抗菌性物質混入事故	0件	2件
生菌による汚染事故	0件	0件
異物混入、加水、 血乳による汚染事故	1件	4件
異臭、異常風味による 汚染事故	0件	0件

**ミルクドクターを
活用してますか？
安心安全な生乳出荷を！**

良質生乳生産推進委員からの標語



凡例： 50.5万以上 40.5～50.4 30.5～40.4 30.4万以下

新職員の紹介

試採用期間を終え、新規採用になりました職員を紹介します。



竹内 乙 佑

4月からの三ヶ月間の試採用期間を経て、この度7月より生産部生乳課に配属となりました、竹内乙佑です。

中春別小中学校、中標津高校、室蘭工業大学を卒業し、現在は当組合において生産部生乳課の業務に従事しております。

試採用期間中は、生産部生乳課において現地業務をはじめ、通常検査などの各種業務に携わらせていただきました。また、業務を通じて仕事に対する責任感を養うとともに、当組合の果たす役割や各課の業務内容、社会人としての基本的なビジネスマナーなど、多くのことを学ばせていただき、大変有意義な期間となりました。

まだ経験も浅く、至らぬ点も多いため、ご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、試採用期間で得た経験を生かし、一日も早く組合の一員としてお役に立てるよう、日々自己研鑽に努めてまいります。

今後とも、ご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



篠 原 有 来

この度、4か月の試採用期間を経て7月より生産部畜産課へ配属となりました篠原有来です。

出身は別海町で、この春JAカレッジを卒業し4月より中春別農業協同組合に入組致しました。

地元の酪農に貢献したいという思いで在学中に家畜人工授精師の資格を取得し、3月から先輩方について一緒に現場を回らせてもらいながら、直腸検査や人工授精の基礎を学んでいます。まだまだ分からないことが多いですが、先輩方のご指導のおかげで出来ることが増えてきているのを日々実感しています。

これからも組合員の皆様にお世話になることが多々あると思いますが、技術を磨きながら様々な経験を積んでいき一人前の授精師になれるよう日々努力していきますので今後ともよろしくお願いします。



笹 岡 夢

3か月間の試採用期間を経て、この度、新採用となり生産部畜産課に配属となりました笹岡夢です。試採用期間中はそれぞれの部署を回り様々な業務を学ばせていただきました。その中で畜産課では個体識別情報による報告業務や農場報告カードの作成など、組合員の皆様と関わる事が多く、覚えることがたくさんあり大変でしたが先輩方にサポートしていただき、日々の業務を行う中で仕事の責任感ややりがいを感じることができました。

また、JAカレッジによる新人職員研修に参加させていただいた際に、ビジネスマナーや電話対応の方法、農業協同組合の歴史などを学んできたことも生かしながら、まだまだ至らない点も多くご迷惑をお掛けするとは思いますが、一日でも早く仕事を覚え組合員の皆様に貢献できるように日々精進していきたく思いますので今後とも宜しくお願い致します。



井上綾菜

3か月間の試採用期間を経てこの度新採用となり金融共済部金融共済課に配属となりました井上綾菜です。試採用期間中は各課を回り多くの業務を経験しました。慣れないことが多く大変なこともたくさんありましたが、上司の方々から支えていただきながら業務を行うことができました。試採用期間で学んだことを業務に活かし、今後はより多くの知識を身に付け上司の方々からのご指導を受けながら一つ一つの業務に責任を持って取り組んでいきたいです。さらに自分自身も成長できるよう多くの事を学びながら努力していきたいと考えています。

1日でも早く仕事に慣れ、組合員の皆様から信頼してもらえるよう日々頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願いします。

.....



伊藤雛希

3か月の試採用期間を経て、この度新採用となり、金融共済課へ配属となりました伊藤雛希です。4月にJAカレッジにて行われた新人職員研修に参加させていただき、ビジネスマナーや電話対応、農業協同組合について学んできました。

試採用期間中は、様々な業務に携わらせていただきました。分からないことや戸惑うことも多くありますが、上司や先輩職員の皆様に丁寧にご指導いただき、日々の業務を行うことが出来ています。

至らない点ばかりで、ご迷惑をおかけしてしまう事もあると思いますが、一日でも早く仕事を覚え、組合員の皆様に信頼していただけるよう努力してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

牛魂祭及び 農作業安全祈願祭

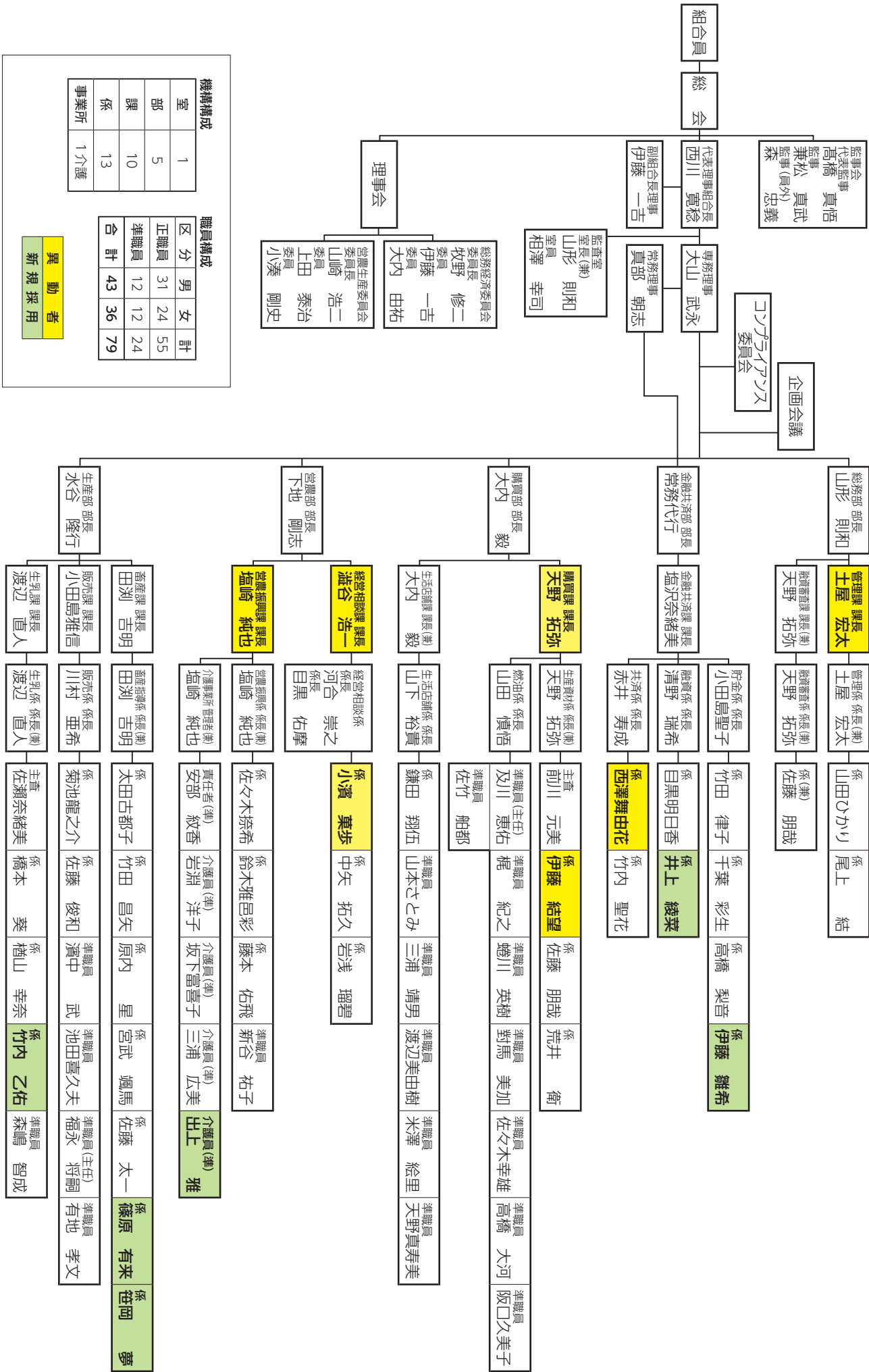


牛魂祭及び農作業安全祈願祭が、6月6日(土)に牛魂之碑前にて行われました。昨年は牧草収穫時期に大きな作業事故はなく、無事に作業を終えることができました。これから農繁期を迎えるにあたり、本年も農作業事故がなく終わられるよう農協役職員、関係者一同農作業安全を祈願しました。



JA中春別 組織機構図と職員配置図

令和8年7月1日現在



職員構成				
室	分	男	女	計
部		31	24	55
課		12	12	24
係		43	36	79
事業所		1		1

異動者
新規採用

第4回 理事会の動き

令和8年6月12日(金)

報告事項

- 1 組合員の脱退について
- 2 マネロン等の防止に係る対応状況について
- 3 総体的なリスク量管理表およびリスク量詳細分析について
- 4 JAバンク基本方針に基づく「体制整備モニタリング報告」について
- 5 令和8年度共済一斉推進実績報告について
- 6 令和8年度5月末営農関連実績について
- 7 特定疾病感染状況について
- 8 令和8年度JA中春別乳牛共進会の成績について

議案

- 1 令和8年度理事報酬額の配分並びに支給方法について
- 2 令和7年度事業版ディスクロージャー誌による開示について
- 3 令和8年度営農年度財産造成に伴う資金の貸付について

協議事項

- 1 地区別組合員懇談会意見集約について
- 2 役員研修の実施について



5月乳質乳価一覧表

			単 価 (円)	算 出 基 礎 (kg)	支払乳価 (円)	前年同期 (円)	差 (円)
乳 脂 肪 分			1,471.250		60.54	56.87	3.67
無 脂 乳 固 形 分			613.395		54.44	51.44	3.00
生 産 者 補 給 金			7.4101		7.41	7.47	-0.06
集 送 乳 調 整 金			2.3020		2.30	2.24	0.06
補 給 金 合 計			9.7121		9.71	9.71	0.00
乳 質 単 価	生 菌 数	ランク1	2	337,082,806.0kg	3.80	3.78	0.02
		ランク2	0	9,833,788.3kg			
		ランク3	－ 3	293,157.7kg			
	体細胞数	ランク1	2	318,944,571.3kg			
		ランク2	1	14,899,616.5kg			
		ランク3	－ 2	2,965,743.3kg			
合 計					128.49	121.80	6.69

5月生乳受託実績表

項 目		単価(円)/(kg) %
乳 脂 肪 分 ①		60円54銭
無 脂 乳 固 形 分 ②		54円44銭
生 産 者 補 給 金 ③		7円41銭
集 送 乳 調 整 金 ④		2円30銭
脂 肪 率	全道	4.11%
	農協	4.25%
無 脂 固 形 分 率	全道	8.88%
	農協	8.86%
成 分 乳 価 (①+②+③+④=⑤)	全道	124円69銭
	農協	126円58銭
乳 質 乳 価 ⑥	全道	3円8銭
	農協	3円756銭
乳 代 合 計 ⑤+⑥	全道	128円49銭
	農協	130円33銭
	差異	1円84銭

令和8年度

根室管内指導農業士会 現地研修会

令和8年(2026年)

※参加申込書または
裏面記載のQRコードからお申込み下さい。

8月5日(水) 11:00~14:00

参加費

- 研修生・学生 : **無料**
- その他一般参加者 : **1,500円** (弁当代含む)

現地 研修

「牧場とTMRセンターの複合経営」

(株)TANAKA FARM (根室市湖南51番地10)

・牛舎内の設備を視察。

(株)TMRセンターオアシス厚床 (根室市湖南100番地1)

・「有機型循環農業」をキーワードとして、施設の運営状況や設備を視察。

※小雨決行のため、雨具を持参してください。

※大雨時は交流会場にて座学研修の実施を予定しています。

交流会

厚床会館(根室市厚床1丁目218番地5)

昼食を交えて指導農業士、農業研修生等と意見交換。

(営農、就農時の課題とその解決に係るアドバイス等)

北海道根室振興局農務課 8:45~17:30 (土日祝休)

お問い合わせ先 TEL 0153-23-6876 FAX 0153-23-6183

【受付】10:30～(株)TANAKA FARM) 【現地研修】11:00～12:30



(株)TANAKA FARM
(根室市湖南51番地10)



(株)TMRセンターオアシス厚床
(根室市湖南100番地1)

【交流会】 13:00～14:00

厚床会館

(根室市厚床1丁目218番地5)



※牧場や会場で駐車する際は誘導に従い、
順次詰めて駐車いただきますよう
ご協力をお願いします。

また、駐車スペースを十分に確保するため、
関係団体で極力乗り合わせてお越し下さい。



申込フォーム
7/27(月) 〆

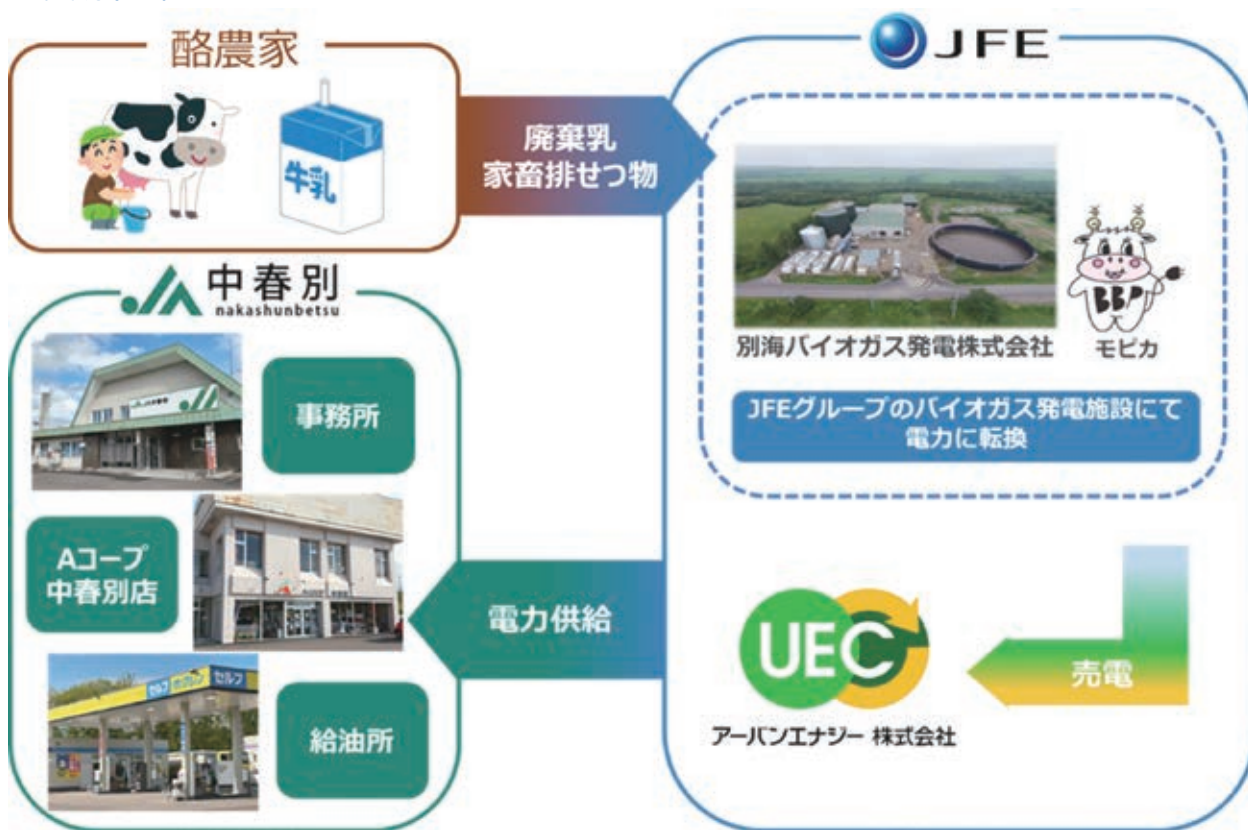
別海バイオガス発電株式会社の電力が 当組合に供給されました

6月1日より、別海バイオガス発電株式会社から電力を買い取りしている新電力会社のアーバンエナジー株式会社より、当組合の事務所、Aコープ、給油所へ電力が供給されることになりました。

別海バイオガス発電株式会社では、契約先の約9割が当地区の農家であり、毎日発生する家畜排せつ物などを原料に年間一般家庭およそ3,000世帯分に相当する電力を発電しております。この取り組みにより、発電原料から電力利用まで地域内で完結させる「地産地消エネルギー循環」が実現されました。

当組合では引き続き環境負荷の低減や資源循環型酪農の推進に向けた取組を継続してまいります。

■資源循環のスキーム



個人事業税・第1期の納期限は8月31日(月)です。

金融機関、振興局窓口、コンビニエンスストアのほか、スマートフォン、タブレット端末から決済アプリを用いて納税することができます。

詳しくは根室振興局 税務課までお問い合わせ下さい。

納期限までに必ず納めましょう。

根室振興局 税務課 〒087-8588
根室市常盤町3丁目28番地

■課税に関すること(課税係) ☎0153-24-5482

■納税に関すること(納税係) ☎0153-24-5466

今月のあなたの運勢 7月

モナ・カサンドラ



牡羊座

3/21~4/19

全体運 思うように進まず、じれったい思いをするのは中旬まで。それ以降はスピードアップが可能！ 新たな挑戦も◎
健康運 軽いスポーツでリフレッシュ。散歩もお勧め
幸運の食べ物 キクラゲ



牡牛座

4/20~5/20

全体運 情報は取捨選択が大切。裏取りする慎重さが成功につながります。下旬は家族のことを優先して。連絡は小まめに
健康運 アレルギー症状は甘く見ないで。すぐにケアを
幸運の食べ物 キュウリ



双子座

5/21~6/21

全体運 停滞ムードを払拭したいならチャンスです。はっきり意思表示しましょう。次のステップが見えてきます
健康運 急な発熱、やけどに注意。休息を忘れずに
幸運の食べ物 青トウガラシ



蟹座

6/22~7/22

全体運 好調運。あちらこちらから引っ張りだこで忙しくなりそう。効率良く動くよう心がけて。大きな成果が期待できます
健康運 リラックスタイムを多めに。お風呂はぬるめで
幸運の食べ物 インゲン



獅子座

7/23~8/22

全体運 上昇運です。活動的なほど良いことが。新しくできた場所やイベントに出かけましょう。金運は好調で買い物大吉
健康運 スマートフォンやテレビの見過ぎに注意。目を大切に
幸運の食べ物 ズッキーニ



乙女座

8/23~9/22

全体運 順調そうに見えて邪魔の入りやすいとき。タイミングの合わないときは無理をしないで仕切り直しを。学びにツキ
健康運 準備体操は入念に。ストレッチで関節痛を予防
幸運の食べ物 ミョウガ



天秤座

9/23~10/23

全体運 目標は大きく、そして小さな一歩から始めましょう。計画性がものをいいます。うまくいったプランを参考に
健康運 体力アップのチャンス。しっかり食べて鍛えて
幸運の食べ物 レタス



蠍座

10/24~11/22

全体運 注目度が上がり周囲の支援を受けられます。やりたいことを明確に。困難に立ち向かう姿勢が幸運につながります
健康運 下半身の冷えに気を付けて。トイレは我慢しないで
幸運の食べ物 トウモロコシ



射手座

11/23~12/21

全体運 物事を丁寧に行いましょう。慌ててやり直すより速く進みます。下旬には成果が見えそうです。買い物は上旬が吉
健康運 スキンケアに力を入れて。爪のお手入れも◎
幸運の食べ物 モロヘイヤ



山羊座

12/22~1/19

全体運 運勢は不安定。何となく周りとかみ合わないことが多いので、連絡と確認を心がけて。ゆっくりと物事を進めると◎
健康運 発酵食品や食物繊維を食べて胃腸を元気に
幸運の食べ物 ナス



水瓶座

1/20~2/18

全体運 余計なこととは言わずにいた方が味方が増えてうまくいきそうです。特に年上の人には敬意を持って接しましょう
健康運 積極的にスポーツやレジャーを楽しんで
幸運の食べ物 ゴーヤー



魚座

2/19~3/20

全体運 欲を出すのはトラブルのもと。実りを分け合う気持ちが幸運を引き寄せます。相手をいたわる気持ちを大切に
健康運 料理中や作業中のけがに気を付けて
幸運の食べ物 カボチャ



ペン送り体操で集中力を鍛える

健康生活研究所所長 ● 堤 喜久雄

左右の指1本ずつだけで、ペンを落とさないように支える体操です。

ペンを指先だけで上手に支えるためには、左右の指に同じだけ力を入れる必要があります。物をつまむときや、手先を使った細かい作業をするときに必要な指先のバランス感覚が鍛えられます。とがったペンを使うときは、必ずキャップを付けてから行いましょう。

ペン送り体操

イラスト：服部新一郎

(1)



(1)ペンの両端を指先をそろえて持ち、胸の前で構えます。

(2)



(2)両腕を前へ伸ばしながら、両手の親指の指先でペンを落とさないように支えます。

(3)



(3)(1)に戻ります。

(4)

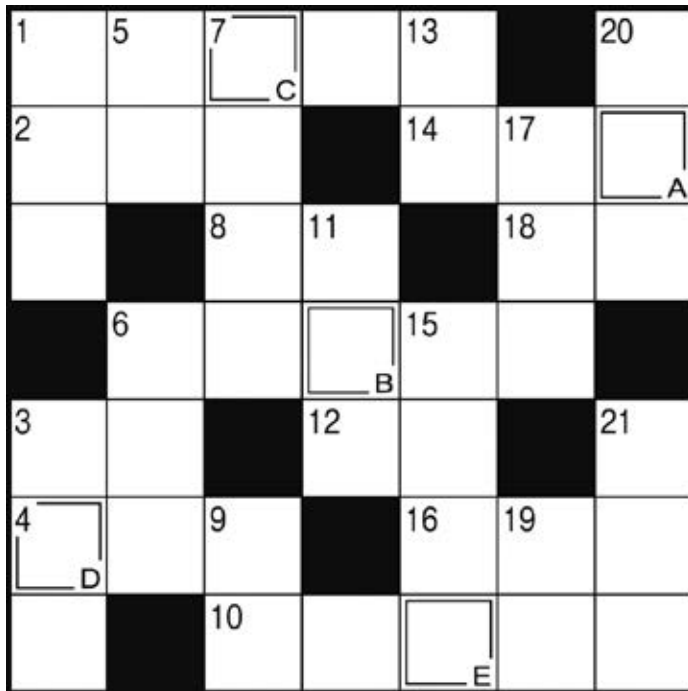


(4)両腕を前へ伸ばしながら、両手の人さし指の指先でペンを落とさないように支えます。

※初めは無理をせず、ゆっくりとできる範囲で続けましょう。

クロスワードパズル

二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？



正解者の中から抽選で8名の方に缶コーヒー引換券をプレゼント（郵送）いたします。

《応募方法》営農振興課宛にFAX(76-2341)でご応募ください。

《応募締切》令和8年7月31日金まで

※ご住所・応募者のお名前を必ずご記入ください。記入漏れがありますと、抽選対象から外れる場合もございますのでご注意ください。

※ご応募に関して取得した個人情報はこの度の景品の抽選以外には使用いたしません。

7月号のこたえ

□ A □ B □ C □ D □ E

住 所 〒

名 前

電話番号

返信先: JA中春別 FAX76-2341 (営農振興課宛)

抽選で8名の方に
乳製品引換券
をプレゼント!!
(今月号では「缶コーヒー引換券」と引き換え!)



ヨコのカギ

- 1 令和8年は8月7日。暦の上ではもう秋です
- 2 髪に結わえるもの
- 3 タンスや机などのこと
- 4 ——ギターは電気信号で音を奏でます
- 6 8月15日は——記念日。平和を祈念します
- 8 初対面の人に——紹介をした
- 10 ハンバーグに入れるタマネギの切り方
- 12 多くは殻を持つ生き物。実はウミウシもこの仲間
- 14 炒った大豆をひいたもの
- 16 分度器で測ります
- 18 納豆が引くもの

タテのカギ

- 1 飛行機が飛び立つこと
- 3 田んぼでゲロゲロ鳴きます
- 5 土地の広さをあらわす単位のひとつ
- 6 しゃわしゃわと蝉——が降り注ぐ
- 7 パールともいいます
- 9 ヒヨコのための栄養が豊富な部分
- 11 小銭入れに入れます
- 13 ブイもこの仲間
- 15 北海道と青森を結ぶ——トンネル
- 17 野球の出場メンバーのこと
- 19 金づちで打ち込みます
- 20 嘘から出た——
- 21 盆——、阿波——

6月号の正解は

A B C D E
ミ ナ ミ カ ゼ
でした



当選者発表

たくさんの応募ありがとうございました。
今回は宮武颯馬畜産指導係に抽選して頂きました！



- ・富 永 松太郎
- ・竹 林 未 織
- ・庄 司 あかり
- ・斉 木 渚 紗
- ・本 田 真由美
(敬称略)